

当院の回復期リハビリテーション病棟について

回復期リハビリテーション病棟とは

脳血管疾患または大腿骨頸部骨折などにより、最も回復が期待できる時期に必要なとされるリハビリテーション医療のサービスを集中的に提供し、寝たきり防止や自宅復帰を目的とした病棟です。

専門リハビリスタッフによる機能訓練に加え、病棟内での日常生活動作（移動、食事、排泄、入浴、更衣など）の訓練も重視し、生活機能の向上を目標としています。

当病棟は、リハビリテーションの効果に係る実績指数が40以上である、回復期リハビリテーション病棟入院料1を算定している病棟です。

実績

◇ 退院患者数

期間：2024年 04月 ～ 06月

回復期リハビリテーションを要する状態	
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント手術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症、腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態又は義肢装着訓練を要する状態	15 名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節若しくは膝関節の骨折又は、2肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	30 名
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、手術後又は発症後の状態	6 名
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後の状態	1 名
股関節又は膝関節の置換術後	12 名
合計	64 名

◇ 実績指数

53.8 点 期間：2023年 10月 ～ 12月

46.2 点 期間：2024年 01月 ～ 03月

61.4 点 期間：2024年 04月 ～ 06月

※実績指数について：リハビリの効果を判定する指数。

3カ月ごとに測定し、2回連続40点未満の場合は効果が低いと考えられる。